

施工説明書

■施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
 ■この説明書は、施工後に必ずお施主様にお渡しください。

●本製品の特徴

・薄塗でよく伸び、施工性抜群・軽量骨材配合で軽量化・安全な石膏素材・無収縮で安定した壁面・適地下地の多様性でリフォームにも最適

●施工上のご注意 安全に施工し、また安全に使用していただくために、下記の事項を必ずお守りください。

【施工部位について】

- ・指定用途以外の使用は、保証いたしかねます。
- ・石膏建材は雨・水濡れ・湿気厳禁の材料です。水や湿気に触れやすい部位への施工はさけてください。
- ・湿気の多い地下室・浴室や外壁は使用しないでください。
- ・グラスウールなどを壁内に施工する場合は、グラスウールの厚みにより壁が膨らむ場合があります。
- ・天井への施工は、原則として禁止します。施工時の状態によっては、剥落のおそれがあります。
- ・アルミサッシ・金属に接するところは、必ずビニール製の見切りなどで縁を切ってください。

【施工環境について】

- ・凍結による性能低下のおそれがありますので、気温3℃以下での施工は避けてください。

【作業について】

- ・施工は、ドライアウト防止の為、必ず3mm以上の厚みになるよう塗りつけてください。
- ・急激な乾燥は避けてください。通気性をよくしてゆっくりと乾燥させてください。
- ・使用時に粉塵が目・鼻・喉や皮膚を刺激することがあります。安全の為作業時は、防塵マスクや保護メガネ・手袋などをご使用ください。
- ・目や鼻・喉に入ったときは、すぐにきれいな水で洗浄してください。手についた時も同様に出来るだけ早く洗浄してください。

【保管・廃棄について】

- ・製品の変色を避ける為、高温・多湿または結露の発生しやすい場所や、床・壁面に接触する様な保管は避けてください
- ・製品の袋・残材・排水が、公害にならないように処理をお願い致します。

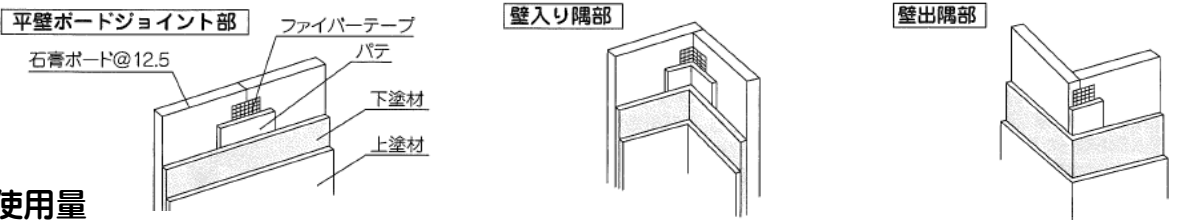
⚠ 注意

本編中にもこの表示がいくつか記載されていますが、これは「取扱を誤った場合に、使用者が重症を負う危険及び物的損害が発生される」ことを示します。

●部材明細

名称	数量	備考
下塗材	1	
説明書	1	

●納まり



●塗り厚と使用量

塗り厚	1袋あたり塗り面積	m ² あたりの使用量
3mm	約8m ²	約2.7kg

※塗り厚や水の量によって、塗り面積は変わります。

●加水量

10~11L/1袋(20kg)あたり

※きれいな水を使用してください。通常、家庭などで使用している水道水であれば問題はありません。鉄分を多く含む水を使用した場合は、シミ・色ムラ・サビの原因となります。

●使用する道具

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・養生テープ ・マスキングテープ ・マスカーテープ ・養生シート ・ファイバーテープ(50mm巾) ・かくはん機 ・バケツ(鉄製以外のもの) | <ul style="list-style-type: none"> ・量り ・洗い用ブラシ ・ひしゃく ・コテ(鉄製以外のもの) ・コテ板 ・霧吹き ・脚立 | <ul style="list-style-type: none"> ・紙やすり ・印毛 ・ゴミ袋 ・タオル ・保護メガネ ・防護マスク ・手袋 |
|--|--|---|



注意

※かくはんを行うバケツは、ステンレス製、ブリキ製のバケツを推奨します。

鉄製のバケツは、シミ・色ムラ・サビの原因となるおそれがあるため、使用しないでください。また、プラスチック製のバケツは、かくはん時にかくはん機の刃によってバケツ表面が削れ、破片が混入する場合がありますので、推奨しません。



注意

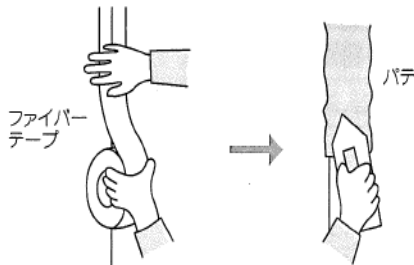
※コテは、ステンレスコテ、もしくは、プラスチックコテを使用してください。

鉄製のコテは、シミ・色ムラ・サビの原因となるため使用しないでください。

●施工手順【下塗材の施工】

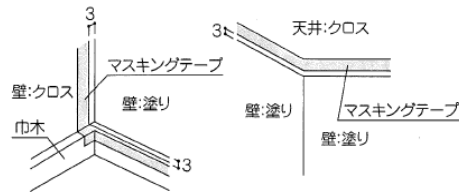
下地処理

- ①下地は必ず石膏ボードをご使用ください。※合板・モルタル等の下地は、シーラー等を塗布してもアク・ヤニ・シミ・膨れ・ひび割れが発生する場合がありますので、使用しないでください。
- ②ボードを直接釘などでとめている場合は、釘などからサビが発生するおそれがあるため、サビ止めを施してください。
- ③石膏ボードのつなぎ部分は、ファイバーテープを貼り、その上からパテ処理を行い、継ぎ目を補強します。



養生

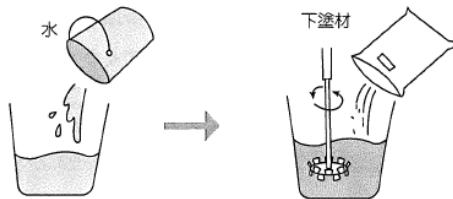
巾、巾木、壁、コンセント周りなど塗り壁材が付着してはいけない箇所を、養生テープ、マスキングテープ、マスカーテープ、養生シートで養生します。テープ類は、下塗材の塗り厚3mmを壁際から離して貼り付けます。テープ類を貼る箇所は、テープの接着が悪くならないよう濡れた雑巾などで、ゴミや汚れを取り除いておいてください。



かくはん

- ①バケツに規定量の約8割の水を入れます。(1袋分の場合、約8~9リットル) ※水の量が多すぎると、柔らかくなり、塗りにくくなるため、残りの水を少量ずつ加え調整できるようにします。
 - ②水を入れたバケツに下塗材を入れます。
 - ③かくはん機で約5~10分程度かくはんします。「ダマ」がなくなるまでよくかくはんしてください。
- ※使用したかくはん機は、使用後すぐに、洗い用の水が入ったバケツの中でブラシを使って洗います。

- ①水を入れる
- ②下塗材を入れる
- ③かくはん



※1回にかくはんする量は1時間30分以内に使いきれぬ量にします。

塗り

※塗り始めは、入り隅や柱・見切り線など、塗り継ぎが切れる部分から塗り始めます。

- ①かくはん後、5分程度放置してから塗りつけます。
- ②所定の塗り厚(3mm)に塗り広げながら、ムラを取ります。
- ③ムラを取った後、しまり加減のタイミングを見て刷毛、霧吹きで水打ちをした後でコテで押さえをします。下塗りは、上塗りに影響するため、なるべく平滑に仕上げてください。

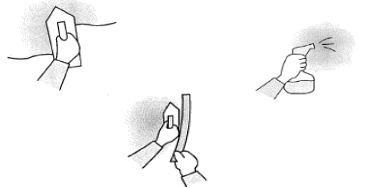
下壁材が乾く前に、下塗材のはがれに注意しながら、マスキングテープ、マスカーテープをはがします。下塗材が浮いてくる場合は、コテで押さえながらはがしてください。

※下塗材が乾くと、テープをはがれなくなることがあります。



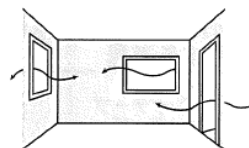
注意

※下塗材の塗り厚は、約3mmです。厚みが少ないと急激な乾燥により、剥がれ落ちる可能性があるため、厚みを保って塗り広げてください。



乾燥

乾燥には、1~3日必要です。乾燥時間は、時期や施工場所の環境によっても異なるので、3日を目安にさせていただくことを推奨します。目視での判断は、全体の様子を見て塗ったときの色(濡れ色)と乾燥したときの色を見ながら判断してください。通気性を良くして、ゆっくりと乾燥させてください。



お施主様へ

このたびは「下塗りMokkun」をお買上げいただき、誠にありがとうございました。本商品は、木の塗り壁Mokkunの「下塗材」です。木の塗り壁Mokkunの取扱については、「上塗材」の取扱説明書をご確認ください。